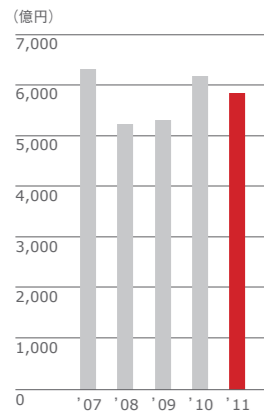


Financial Highlights

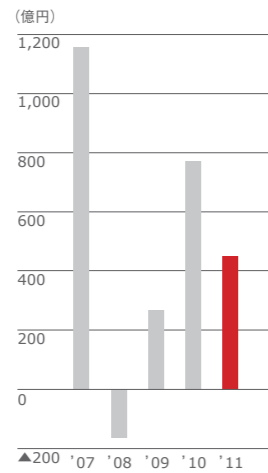
成長を続けるエレクトロニクス市場。
ムラタの電子部品が、それをリードします。

ムラタは、2011年度、スマートフォン、タブレットPC、カーエレクトロニクス向けが好調に推移するものの、ノートPC、薄型テレビなどのその他の電子機器の生産が低調だったことから、減収減益の結果となりました。2012年度は、スマートフォン、タブレットPCのさらなる拡大、自動車の電装化の進展、その他の電子機器の生産回復が見込まれることから、大幅な成長が期待できます。

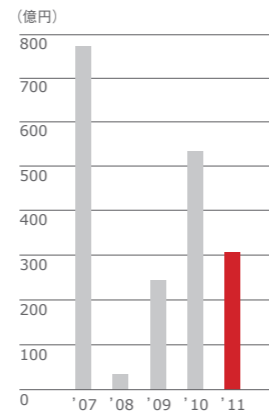
売上高



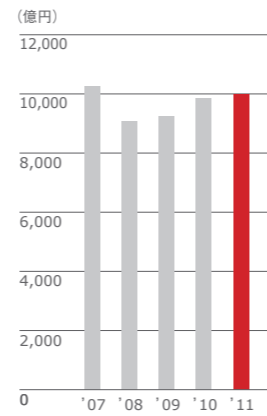
営業利益



当期純利益



総資産

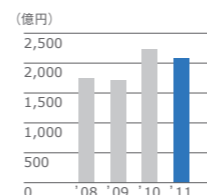
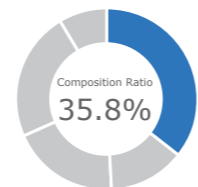


■ コンデンサ

スペックのさらに先へ、
ムラタの強味を発揮する。

HV(ハイブリッドカー)、EV(電気自動車)など、自動車のエレクトロニクス化が進む中で、積層セラミックコンデンサでも車載用の需要が大きく伸びつつあります。人命にかかわることもある分野だけに厳しいスペックが要求されますが、それゆえにムラタの強味が発揮されるところです。

株式会社村田製作所 セールスエンジニアリング統括部
阿部 優子

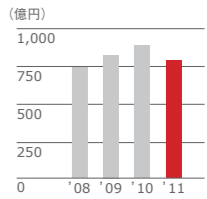
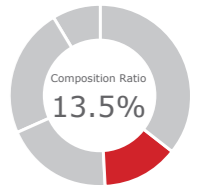


■ 圧電製品

先進国からBRICsへ、
さらに大きな市場を展望する。

表面波フィルタ、デュプレクサなど、携帯電話の中で周波数を選択的に通すデバイスの開発に取り組んでいます。スマートフォンやタブレットPCなど、先進国からBRICsへと大きなマーケットシフトが起こりつつある分野で、今後、さらに需要の拡大が期待されています。

株式会社金沢村田製作所 SAW商品部
山崎 直

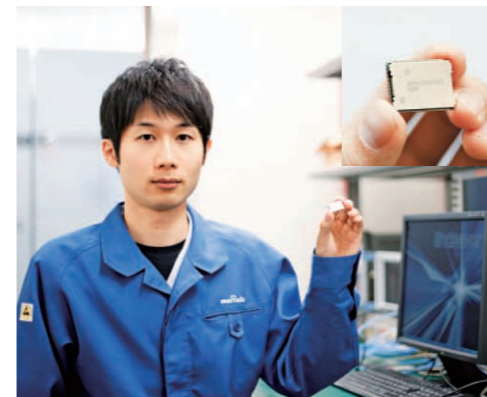
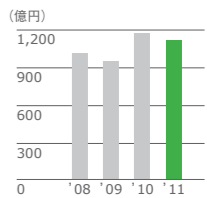
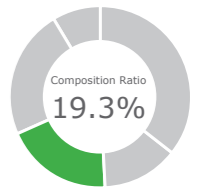
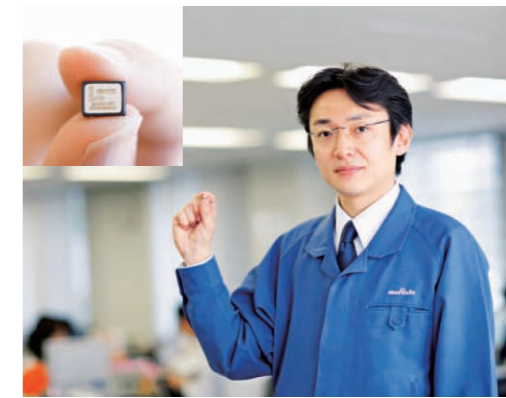


■ その他コンポーネント

センサフュージョンで、
新たな価値提案に挑む。

ムラタはこれまでさまざまなセンサ製品を提案してきましたが、これまでのセンサ単体での提案に加え、複数のセンサ信号を組み合わせた信号処理で、新たな機能を持たせようとしています。「センサフュージョン」と呼ばれるもので、モーションセンシングなど、新たな価値提案の実現を目指しています。

株式会社村田製作所 センサ事業部
酒井 貴智

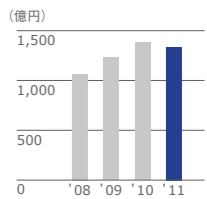
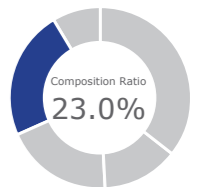


■ 通信モジュール

ネットワークソリューションを担う
高品質モジュール。

カーナビやカーオーディオなど、自動車分野で需要が伸びています。自動車に10年10万kmの耐久性が求められるなら、ムラタの通信モジュールはそれ以上を目指します。今後は、ヘルスケアやエネルギーの新しい分野で、ネットワークソリューションの採用を大きく伸ばしていきます。

株式会社村田製作所 コネクティビティ商品事業部
川島 啓



■ 電源他モジュール

業界標準へ、
新たな体制づくりに取り組む。

これまで、ムラタの電源モジュールはサイズや出力などの対応によるカスタム品を得意としてきましたが、これからは業界標準品も強化していきます。この市場は大きく、グローバルに広がっており、ムラタでは新しいマーケットに挑むべく、体制づくりを進めています。

株式会社村田製作所 パワーモジュール商品事業部
大谷 友紀

